

授業科目	老年看護学概論	2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	長谷川真澄 (保健医療学研究棟 E305 号) e-mail : m-hasegawa@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	木島輝美、鳥谷めぐみ		
概要	本科目では、老年看護学の基本的な考え方および加齢に伴う心身の変化と生活の特徴、わが国の少子高齢化と保健医療福祉政策の動向について学ぶ。具体的には、高齢者疑似体験、高齢者へのインタビューや観察、グループ学習などの学生の主体的な学習活動をとらして高齢者への理解を深めるとともに、高齢社会における看護の役割について考える。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年期の発達課題の特徴や加齢に伴う心身の変化について説明できる。</li> <li>2. 高齢者の生活や健康課題の特徴を説明できる。</li> <li>3. 少子高齢化と保健医療福祉政策の変遷について説明できる。</li> <li>4. 高齢者をとりまく家族・地域・社会的状況と健康生活を支えるケアシステムを説明できる。</li> <li>5. 高齢者の生活機能を維持・向上するための看護の役割について説明できる。</li> </ol>		
関連科目	疾病治療論4、老年看護方法、老年看護実習1・2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	グループ学習	20%	グループ学習：グループワークへの貢献、発表・討論への参加態度 提出物：高齢者疑似体験の事前・事後レポート(10%)、ライフストーリーレポート(10%)。 提出物、定期試験それぞれについて6割に満たない場合は、再試験または課題の再提出を課す。
	提出物	20%	
	定期試験	60%	
教科書	①北川公子 [最新版] 「系統看護学講座 専門 老年看護学」 医学書院		
参考書	①内閣府編 [最新版] 「高齢社会白書」 印刷通販		
履修上の留意点	ガイダンス時に配付する学習ガイドブックを活用し、計画的、主体的に学習に取り組むことを期待する。学習テーマに応じて詳細な学習要項を別途、配付する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	ガイダンス：本科目の目的・目標、学習内容・方法、履修上の留意事項 高齢社会と社会保障：少子高齢化と保健医療福祉政策の動向・将来像 高齢者疑似体験ガイダンス	事後：教科書の指定頁の復習	講義	長谷川
2	高齢者の理解1：高齢者疑似体験	事前：事前課題の提出 事後：体験後レポートの提出	演習	鳥谷・木島・長谷川
3	高齢者の理解1：高齢者疑似体験のまとめ 高齢者の理解2：加齢に伴う身体的・心理的变化の特徴①	事前：EVOの視聴、教科書の指定頁の予習 事後：グループ学習資料の提出	グループ学習	鳥谷・木島
4	高齢者の理解2：加齢に伴う身体的・心理的变化の特徴②(グループ発表・討論) 高齢者の理解3：高齢者の健康の特徴	事後：教科書の指定頁の復習	グループ学習・講義	木島・鳥谷
5	高齢者の理解4：高齢者の生活の特徴①	事後：グループ学習資料の提出	〃	長谷川
6	高齢者の理解4：高齢者の生活の特徴②(グループ発表・討論) 高齢者の理解5：高齢者の生活史① ライフストーリー・インタビューガイダンス	事前：発表資料を読む 事後：講義資料の復習	〃	〃

7	高齢者の理解5：高齢者の生活史②ライフストーリー・インタビューレポートの共有(グループワーク、発表・討論)	事前：ライフストーリーインタビューの課題に取り組みレポート提出 事後：講義・グループ学習全体の復習	グループ 学習	長谷川・ 鳥谷・ 木島
8	高齢者の理解6：高齢者介護の動向 老年看護の目標と役割 科目のまとめ	事後：教科書の指定頁の復習	講義	長谷川